

長岡方式の避難行動（信濃川）のイメージ

1 避難行動判定フロー

① わが家の特徴を確認

避難に使える車 有・ない

上階への避難を想定建物の階数 1・2・3階以上

浸水しない区域に頼れる知人・親戚 いる・いない など

② 地図で自宅の危険性を確認

洪水時の自宅周辺の... 浸水する区域と深さ 激しい流れでの倒壊の恐れ 避難時の危険箇所

③ 避難行動、避難先、移動手段を決定

避難先まで、想定している手段で平時に移動して確認しておく

2 信濃川早期警戒情報

・避難の準備や早めの避難行動を促す情報として、避難情報を発令する前の警戒レベル2以下で発表

⇒浸水想定区域外の避難場所を開設

5 災害発生または切迫	緊急安全確保 ※必ず発令するものではない	命の危険 直ちに安全確保!
〜〈警戒レベル4までに必ず避難!〉〜		
4 災害の恐れ高い	避難指示 ※これまでの避難勧告のタイミングで発令	危険な場所から全員避難
3 災害の恐れあり	高齢者等避難	危険な場所から高齢者などは避難 ※高齢者など、要支援者以外でも危険を感じたら自主的に避難
2 気象状況悪化	信濃川早期警戒情報 大雨・洪水注意報	避難の準備・確認 浸水しない場所へ
1 今後気象状況悪化の恐れ	早期注意情報	災害への心構えを高める

警戒レベル2以下で発表

3 長岡方式の避難行動

自宅内や車移動による安全確保を最優先に考え、市が開設する避難施設だけでない**避難行動**

まずはこちらの行動

浸水しない場所へ車などで避難

または

自宅の上の階に避難

※下記すべてに該当
・上の階が浸水しない
・家屋が倒壊しない

できない場合

浸水想定区域内の市が開設する避難場所(2階以上等)へ避難

※左記以外の方

4 避難者数シミュレーション

・避難対象者は19.8万人。

・市が開設する避難場所の収容人数は9.8万人。

・長岡方式の避難行動の実現により、避難場所への避難しか選択できない方のスペースが確保できる。

避難先	人数(万人)
1 車等で浸水しない場所	4.8
2 自宅等の上の階	5.2
3 市が開設する避難場所	9.8

